

ちばの博物館

<https://www.chibahaku.skr.jp/hp/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

心に響く展示を目指して —睦沢町立歴史民俗資料館—



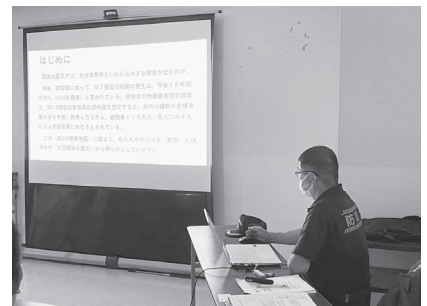
▲睦沢町立歴史民俗資料館遠景

睦沢町立歴史民俗資料館は、1982年に開館した延床面積700平方メートルの施設です。人口6,598人（2024年1月末現在）という小さい町の小規模な資料館である当館では、何気なく立ち寄った方にも愛好家の方にも、心に一つ「ぐっとくる」資料や作品を展示することを目指しています。

心に響く展示をするためにも、資料の調査と研究、そして、収蔵資料の管理は重要です。当館では開館以来、旧蔵者や所蔵者からのご縁を大切に、丁寧な聞き取り調査や研究を行ってきました。登録資料の総数は、55,699件（2024年2月6日現在）で、『ちばの博物館』No.126（2010年8月1日発行）で当館の紹介をした時と比べて約39,000件増加しました。これらの資料を、資料の来歴等に関する文字情報と資料

の画像を併せて確認できる、当館が自主技術開発した収蔵品管理システムで管理し、町民や研究者の問い合わせへの対応にも活用しています。

展示や講座の内容も、心に響くものになるように工夫しています。令和5年度は、関東大震災から100年を迎えたことから、特集陳列「睦沢町の関東大震災」という展示を開催し、第40回歴史学講座「防災士がみた睦沢町の関東大震災」や第28回ふるさとに親しむ古文書講座「関東大震災資料を読む」も実施しました。防災士と学芸員が「関東大震災」を主題にした2つの講座はともに、災害から身を守る実践的な方法や当時の状況を歴史に学ぶことができたこと好評でした。また、令和5年度から年度またぎで開催中の第20回館蔵名品展「老舗料亭の風情」では、「風情」という目に見えないものを資料から体感していただきたいと考えて、輪島塗の漆器や食品見本、調理用具など料亭の資料を展示しています。



▲第40回歴史学講座「防災士がみた睦沢町の関東大震災」講座風景

- ◆開館時間 9時から16時30分まで
- ◆休館日 月曜日、年末年始、館内整理日
- ◆入館料 無料
- ◆ホームページ <https://www.town.mutsuzawa.chiba.jp/shisetsu/rekishiminzoku>
- ◆問い合わせ先 電話 0475-44-0290



▲第20回館蔵名品展展示品輪島塗黒内朱塗井椀「黒丸」

- 心に響く展示を目指して
—睦沢町立歴史民俗資料館—…………… 1
- 県内トピックス
第71回全国博物館大会(千葉大会)終了報告
「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展… 2～3

- 探訪 ちばの博物館
—第3回 木更津市郷土博物館金のすず—… 4～5
- 春から夏の催し(4月～9月)…………… 6
- 展覧会案内…………… 7
- 日誌抄・編集後記…………… 8

No.150
2024.3.31

県内トピックス

第71回全国博物館大会（千葉大会）終了報告

公益財団法人日本博物館協会が主催する第71回全国博物館大会（2023年11月15日（水）～17日（金））が、本協会が共催して千葉市文化センターにて開催されました（写真1）。「博物館法改正元年一つながり、交差する一」をテーマに、博物館法の改正を現場の博物館がどう受け止め、対応するかを議論しようとするものでした。私としては、博物館法改正に対する強いメッセージを千葉県から全国に発することができたと考えております。何と申しましても全県下の博物館の方が一丸となってご協力をいただいた賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。

千葉県博物館協会会長 菅根幸裕（千葉経済大学）

千葉県博物館協会は、全国博物館大会（千葉大会）に共催として協力しました。開催に向けた準備は会期の約1年前から始まりました。まずは実行委員会の立ち上げを行わなくてはいけません、県や市との調整に少し手間取りました。しかしながら実行委員会の立ち上げ後はプロジェクト委員の協力もあり順調に準備することができました。プロジェクト委員は17名で、分科会班、エクスカージョン・企業ブース班、情報交換会班の3班に分かれ、開催内容の詳細な検討や外部協力者との調整を行いました。そして、大会の前日準備から当日の運営については、サポートスタッフとして本協会加盟館園の職員をはじめとする55名の方にご協力いただき、さらに千葉経済大学、千葉大学、明治大学の学生11名に学生ボランティアとしてお手伝いいただきました（写真2）。サポートスタッフの皆さんには当日まで直接説明する機会がなかったにも関わらず、的確に行動いただき大変ありがたい思いです。

また、全国博物館大会に合わせた千葉県博物館協会の特別事業として、加盟館園を紹介する展示パネルを作成しました（写真3）。「地域の魅力再発見 ちばの博物館」と題し、全12枚のポスターに63加盟館園の位置図と各館のイチオシ資料写真とコメント、利用案内情報を掲載しました。全国博物館大会を始め、令和5年度は8か所で巡回展示を行いました。掲載情報を更新しながら次年度も巡回展示を続けていく予定です。

千葉県博物館協会事務局



写真1 シンポジウム（11月16日午後）



写真2 大会当日のサポートスタッフ打合せ



写真3 県博協加盟館園を紹介する特別事業の展示パネル

—— 令和5年度巡回展示一覧 ——

- 千葉市文化センター(第71回全国博物館大会会場:11月15日～16日)
- 袖ヶ浦市郷土博物館(11月17日～12月10日)
- 山武市歴史民俗資料館(11月21日～12月20日)
- 千葉市生涯学習センター(12月11日～28日)
- 鹿野山神野寺(1月1日～17日)
- 一橋大学(第10回全国史料ネット研究交流集会:2月17日～18日)
- 千葉県立中央博物館(2月23日～5月6日)

県内トピックス

千葉県誕生150周年記念

「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展

明治6年（1873）6月15日に印旛県と木更津県が合併して千葉県が誕生してから150周年を迎えることを記念して、千葉県内ではさまざまな記念事業が催されました。千葉県立中央博物館が主催している「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展も、それらのうちの一つです。「明治－千葉県誕生と近代政治の展開」から直近の「平成・令和－「千葉」の名が世界へ」まで計14枚の通史パネルに加えて、9月からは、県民から募集した写真を使用したパネルと、「みんなで創る「ふるさとちば古写真デジタルアーカイブ」」を閲覧できるタッチパネル式ノートPCも巡回しています。

※展示内容は会場により異なります。



写真1 千葉県立東部図書館での展示



写真2 航空科学博物館での展示

【パネル展示巡回会場一覧】

	会場	展示期間
1	千葉県立中央博物館 (千葉市)	7月1日(土)～9月18日(月・祝)
2	千葉県立西部図書館 (松戸市)	7月8日(土)～8月31日(木)
3	千葉県立東部図書館 (旭市)	9月9日(土)～11月23日(木・祝)
4	銚子市ジオパーク・芸術 センター(銚子市)	9月30日(土)～11月5日(日)
5	千葉県南総文化ホール (館山市)	10月24日(火)～11月5日(日)
6	NHK千葉放送局 (千葉市)	11月10日(金)～11月26日(日)
7	千葉市文化ホール (千葉市)	11月14日(火)～11月17日(金)
8	国民宿舎サンライズ 九十九里(九十九里町)	12月2日(土)～1月14日(日)
9	川の駅 水の郷さわら (香取市)	12月16日(土)～1月21日(日)
10	千葉市動物公園 (千葉市)	12月14日(木)～1月9日(火)
11	航空科学博物館 (芝山町)	1月13日(土)～1月28日(日)
12	多古町コミュニティ センター(多古町)	1月27日(土)～2月11日(日)
13	千葉県文書館 (千葉市)	2月1日(木)～2月27日(火)
14	千葉県立中央博物館分館 海の博物館(勝浦市)	2月3日(土)～2月29日(木)
15	さわやかちば県民プラザ (柏市)	2月20日(火)～3月20日(水・祝)
16	千葉県立中央博物館 大多喜城分館(大多喜町)	3月2日(土)～3月20日(水・祝)
17	青葉の森公園芸術文化 ホール(千葉市)	3月5日(火)～3月17日(日)
18	東総文化会館 (旭市)	3月20日(水・祝)～3月31日(日)
19	千葉県立房総のむら (栄町)	3月23日(土)～5月12日(日)
20	千葉県立現代産業科学館 (市川市)	3月26日(火)～4月29日(月・祝)
21	千葉県立関宿城博物館 (野田市)	4月16日(火)～5月26日(日)
22	船橋市郷土資料館 (船橋市)	5月3日(金・祝)～6月9日(日)

探訪

ちばの博物館

— 第3回 木更津市郷土博物館金のすず —

船橋市郷土資料館 学芸員 小田真裕 (歴史学)
千葉県立中央博物館 研究員 島立理子 (民俗学)

このコーナーでは、千葉県博物館協会広報委員が県博協加盟館園を訪問して、展示や活動などの注目点を紹介します。今回は、委員2名が木更津市郷土博物館金のすずを訪問し、谷畑美帆館長(考古科学)と井上賢学芸員(考古学)から説明を受けました。

訪問日：令和6年1月30日(火)

木更津市郷土博物館金のすずは、昭和45年(1970)に設置された千葉県立上総博物館が平成20年(2008)3月末に閉館し、4月1日付けで木更津市に移管された後の同年10月1日に開館した登録博物館である。館名の「金のすず」(純金製の鈴5点)を含む、県指定史跡「金鈴塚古墳」の出土品の多くは、昭和34年(1959)に国の重要文化財に指定され、近年も、令和2年(2020)に未指定物件の追加指定および指定名称変更がおこなわれた。

※同館の情報については、稲葉昭智「木更津市郷土博物館金のすず 一県内最古級の博物館施設一」(『千葉県の文書館』28、2023年3月)も参照してほしい。



写真1 「木更津の歴史」原始～古墳時代中期

■リニューアルした常設展示

同館は、令和元年度から2年度にかけて、空調設備の改修工事と併せて常設展示をリニューアルし、令和3年(2021)7月17日から公開している。施設や設備は既存のものを利用する形だが、開館以来の調査・研究成果が反映された展示資料の選択やパネルの更新がなされている。

原始から古墳時代中期の展示室に入ると、展示されている土器の数の多さに目を奪われる(写真1)。展示の作り自体は、オーソドックスな通史展示であるにもかかわらず、レプリカではなく、ホンモノが語り掛けてくることで、展示に他の博物館にはない厚みを感じさせてくれる。また、細部にこだわった演示方法など、



写真2 「金鈴塚の輝き」

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・
ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015船橋市日の出2-2-13第2ナカイビル102

営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日

TEL.047(437)6208

関東港業株式会社
KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた

保存環境の調査～提案・施工まで

文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備
(各種業種対応)
28ml/9ml対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002

千葉市美浜区新港58-2

TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080

http://www.kan-ko.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板

道路標識・街路表示板・観光絵看板

各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗

プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号



有限

会社

大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地

TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224

E-mail: art-studio.okubo @apost.plala.or.jp

学芸員の展示に対する愛情を感じる。

また、「金鈴塚の輝き」のコーナーは、平成22年度から実施された国立歴史民俗博物館との共同研究を踏まえた内容になった（写真2）。

次に、千葉県博物館協会広報委員の2名が、それぞれの視点から、リニューアル展示の注目点を紹介する。

■民俗学の専門家 島立の視点

「木更津市郷土博物館金のすず」のことを学べる展示コーナーに注目したい。ここでは、博物館の使命にはじまり、博物館の歴史、研究活動やボランティア活動など博物館の様々な活動などが紹介されている。

新しく作られたこのコーナーを通して、来館者は、リニューアルした展示がこのような「博物館の使命」のもとで作られた展示であること、博物館の活動が展示だけではなく、来館者自身も博物館の活動に主体的にかかわれることに気付いてもらえる。

このようなコーナーが常設展示にあることは、博物館の応援団を作っていくために、大切であると感じた。



写真3 解説パネル「博物館の目指すもの」

■歴史学の専門家 小田の視点

「くらしの技術」のコーナーにおいて、ジオラマのほとんどに、小学生でも理解できそうなわかりやすい解説パネルが新設されていたことに注目したい。

博物館の職員は、リピーターの既視感を軽減するために、展示資料の入れ替えは常々考えているだろう。また、展示理解に資する新たな展示物を作りたいと思うこともあるだろう。しかし、学問的な質が担保されたジオラマ・動画・タッチパネル等を新たに作る予算は、なかなか付かない。今回見たリニューアル展示のように、既存の展示物の見せ方の変化や末永い活用に

ついても、改めて考える必要があると感じた。

なお、同館の企画展は、常設展示のうち近世と美術の部分を使って開催するそうである。県博協加盟館園には、同館のように、企画展やイベントの開催時に通史展示の一部を縮小する例がある。限られた空間において、来館者に何を伝えようとするのか。そのために、何を犠牲にするのか。熟慮した上で、削る部分を戦略的に決める必要があると思う。

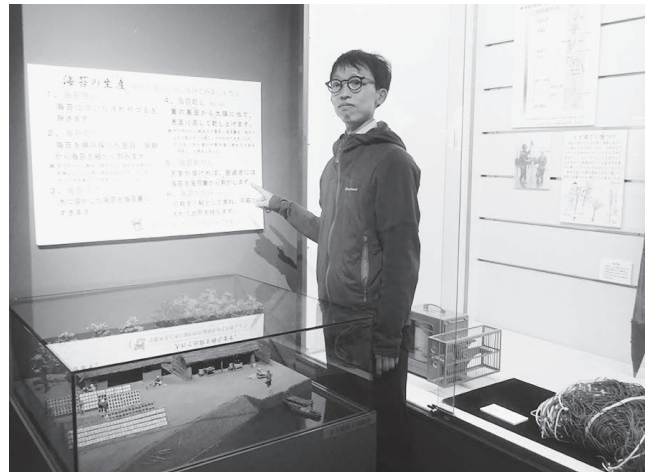


写真4 解説パネル「海苔の生産」

■新しい事業の展開

同館では、令和5年（2023）7月から「ミュージアム・サポーター」9名（うち小学生2名）が活動を始め、3月には調べた内容の発表会が開かれる。谷畑美帆館長によると、館長が研究員を務めていた英国自然史博物館の制度をモデルにしたもので、ゆくゆくは、展示解説や台帳整理をすることを期待しているという。常設展示だけでなく、今後の博物館内外における新たな研究成果の発信や市民への還元にも、注目したい。

木更津市郷土博物館金のすず

- ◆所在地／木更津市太田二丁目16番2号（太田山公園内）
- ◆開館時間／9時から17時（入館は16時30分まで）
- ◆休館日／月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
12月28日～翌年1月4日
- ◆入館料／令和6年（2024）4月から
常設・企画展示無料
特別展有料（その都度設定）
- ◆問い合わせ先／0438-23-0011

* 春から夏の催し (4月~9月) *

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●いすみ市郷土資料館	TEL 0470-86-3708		●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111	
展覧会	「めでたい模様Ⅱ」	4月13日~8月25日(予定)	展覧会	生態園トビックス展「生態園の野鳥たち」	開催中~7月7日
●市原湖畔美術館	TEL 0436-98-1525		展覧会	春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」	開催中~5月12日
展覧会	「ICHIHARA×ART×CONNECTIONS-交差する世界とわたし」	開催中~6月23日	展覧会	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」	6月8日~7月15日
講演会・講座等	「隣人のあなた『移民社会』日本でいま起きていること」	4月13日	展覧会	特別展「万祝博覧会-海をまとう-」	7月27日~9月29日
展覧会	「レイクサイドスペシャル!」	7月20日~9月23日	●千葉県立中央博物館分館海の博物館	TEL 0470-76-1133	
●市原歴史博物館	TEL 0436-41-9344		展覧会	令和5年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサハリ2 -ハリの世界-」	開催中~5月6日
講演会・講座等	いちはら郷土学習講座	4月、5月、6月、8月	展覧会	令和6年度収蔵資料展「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	7月13日~9月1日
●大原幽学記念館	TEL 0479-68-4933		●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
展覧会	「椿海干拓350年記念 干潟八万石物語」	開催中~6月16日	その他イベント等	春のまつり	5月2日~5月6日
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030		その他イベント等	むらの縁日・夕涼み	8月3、4日
展覧会	令和5年度企画展「鎌ヶ谷の小学校150年史」	開催中~5月26日	展覧会	地中からのメッセージ ~旧石器・縄文・弥生~	
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803			~千葉県教育振興財団設立50周年記念展 part1~	9月21日~11月17日
講演会・講座等	動物友の会月例会	4月20日、4月27日、5月18日、5月25日、6月22日、6月29日、7月20日、7月27日、8月24日、8月31日、9月21日、9月28日	●千葉市美術館	TEL 043-221-2311	
講演会・講座等	サマースクール	7月25日~8月2日までの平日	展覧会	企画展「板倉鼎・須美子展」	4月6日~6月16日
その他イベント等	千葉県民の日イベント	6月15日	展覧会	「つくりかけラボ15 齋藤名穂」	6月12日~9月29日
●木更津市郷土博物館金のすず	TEL 0438-23-0011		展覧会	企画展「岡本秋暉 百花百鳥に挑んだ江戸の絵師-揃水軒コレクションを中心に」	
展覧会	企画展「古墳時代の謎の木の道具たち」	開催中~5月6日	展覧会	企画展「江戸絵画縦横無尽揃水軒コレクション名品展」	6月28日~8月25日
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		●千葉市立加曾利貝塚博物館	TEL 043-231-0129	
講演会・講座等	古文書講座(仮称)	5月、6月、7月(予定)	展覧会	特別史跡加曾利貝塚発掘速報展(令和5年度調査分)	開催中~6月30日
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123		展覧会	加曾利貝塚発掘100周年記念パネル展	4月2日~7月28日
展覧会	企画展示「歴博色尽くし」	開催中~5月6日	その他イベント等	加曾利貝塚発掘100周年記念縄文春まつり	5月3日~5日
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842		●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
展覧会	「山武市の埴輪」(仮称)	4月20日~令和7年5月11日	展覧会	令和6年度パネル展「水と関わる千葉氏」(仮称)	5月28日~9月30日
その他	「夏休み体験講座 左千夫クイズ」	7月21日~8月31日	●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661	
その他	「夏休み体験講座 勾玉作り」	8月3日、8月4日	展覧会	「第15回アンデルセン公園きりがみ展	
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562			~コンクール作品展示と切り紙の魅力~	4月21日~5月12日
展覧会	「浮世絵って何?」	5月14日~6月1日(予定)	展覧会	「恐竜作家 原嶋剛慎(はらしまひさみつ)の	
展覧会	「MADE IN OCCUPIED JAPAN③ パルティ」	6月25日~7月27日(予定)	展覧会	My ダイノワールド」	5月25日~7月15日
●白浜海洋美術館	TEL 0470-38-4551		展覧会	「『ねんどやきもの劇場 Part2』-5人の若き陶芸家と子どもたち-」	8月10日~9月29日
展覧会	「紙の工芸とサーフボード展」	4月5日~5月27日	●船橋市郷土資料館	TEL 047-465-9680	
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		展覧会	千葉県誕生150周年記念	
展覧会	小展示「市川出土の注目資料」	開催中~7月8日	展覧会	「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展	5月3日~6月9日
展覧会	小展示「鬼高遺跡」(仮称)	8月10日~	展覧会	吉澤野球博物館資料展示室企画展	
その他イベント等	ナイトミュージアム	8月下旬	展覧会	「君の推しはどこと!~戦国千葉の甲子園~」	7月6日~9月9日
●白井そろばん博物館	TEL 047-492-8890		展覧会	企画展「船橋の食文化」	7月13日~9月8日
展覧会	第20回企画展「塵劫記の背景」	9月1日~10月27日	●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181	
その他	「春のそろばんフェスティバル」	4月7日	展覧会	館蔵資料展「たてたてあなあな-堅穴建物の世界」	4月27日~6月9日
その他	「夏の博物館祭り」	8月4日	展覧会	館蔵資料展「まつどの江戸時代 其の参」	7月13日~8月25日
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		●松山庭園美術館	TEL 0479-79-0091	
展覧会	企画展I「出羽三山と袖ヶ浦の山岳信仰」	5月3日~7月15日	展覧会	「第21回猫ねこ展覧会2024」	4月12日~7月28日
その他	ミュージアム・フェスティバル	6月8日、9日	展覧会	「卓上で楽しむミニチュア絵画展」	8月2日~9月1日
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		展覧会	「サトウミキ写真展」	9月6日~9月29日
展覧会	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4月~6月	●陸沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290	
展覧会	収蔵資料展「ちょっと昔の暮らしの道具」	7月~9月	展覧会	第20回館蔵名品展「老舗料亭の風情」	開催中~6月16日
講演会・講座等	収蔵資料展解説会	7月、9月	講演会・講座等	第44回歴史学講座「彫師島村圓鉄の末裔島村俊明」	4月20日
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000		講演会・講座等	第28回歩いて訪ねる文化財「地域再発見陸沢町上市場地区」	5月20日
その他イベント等	プラネタリウム上映会	8月9日~29日	その他イベント等	館蔵名品展「老舗料亭の風情」ギャラリートーク	5月25日
展覧会	展示会「これでわかった!未来の技術2024」(仮称)	8月10日~25日	講演会・講座等	第27回考古学講座(講師:風間俊人氏)	6月15日
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400		展覧会	特別展「夢楽工房の32年-ひとむぎに拓いた陶芸の道-」	9月7日~12月15日
展覧会	パネル展「利根川の風景Ⅰ」	5月28日~7月7日	●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
展覧会	パネル展「利根川の風景Ⅱ」	7月9日~9月23日	講演会・講座等	「くずし字を楽しもう」(全3回)	5月12日~5月26日~6月16日
その他イベント等	関宿城下を歩こう(4/19 城下町コース、5/19、6/1 河川コース)	4月19日、5月19日、6月1日	展覧会	企画展「水とともに~陸村の歴史~」	7月13日~9月29日
			講演会・講座等	やち博講座(全4回)	6月23日、8月25日、11月17日、令和7年2月16日

詳細は直接館にお問い合わせください。

* 展覧会案内 *

市原湖畔美術館

企画展 ICHIHARA × ART × CONNECTIONS
—交差する世界とわたし

当館が位置する市原市は、全国・世界から移り住んだ数多くの人々を受け入れ、人口の50人にひとりが海外にルーツを持っています。本展では、彼らの母国から招いたアーティスト、ディン・Q・レ（ベトナム）、リーロイ・ニュー（フィリピン）、リュウ・イ（中国）、チョ・ウンピル（韓国）がワークショップやリサーチ、インタビューを通して作品制作を行います。それぞれの国の歴史・文化・風土、そしてこの地で暮らす人々の人生や思いに光を当てた作品は、私たちの想像力をひらいていくことでしょう。

<会 期>3月23日(出)～6月23日(日)

<休館日>毎週火曜日（4月30日は除く）

<料 金>一般：1,000円（800円）／大高生・65歳以上：800円（600円）※（）内は20名以上の団体料金

※中学生以下無料・障害者手帳をお持ちの方（または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示）とその介添者（1名）は無料

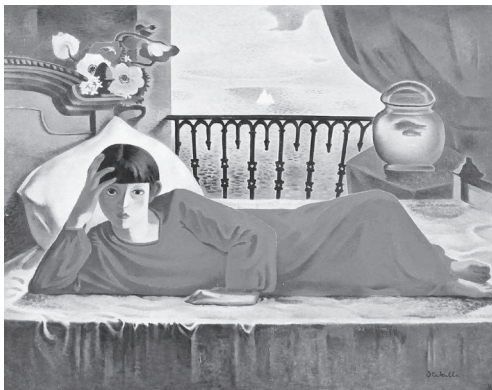


ディン・Q・レ《絆を結ぶ》

千葉県美術館

かたえ
板倉鼎・須美子展

洋画家の板倉鼎（1901-29）は幼い頃より松戸市に過ごし、県立千葉中学校で堀江正章に学びました。1926年に妻・須美子とパリに留学、徐々に独自の画風を獲得し、ともにサロン・ドートンヌに入選するなど精力的に制作しますが、鼎は28歳、須美子も25歳で亡くなってしまいます。本展では早世したため評価を逸してきた若き洋画家夫妻の真摯で無垢な芸術の軌跡をご紹介します。



板倉鼎《休む赤衣の女》

1929年頃 個人蔵（松戸市教育委員会寄託）

<会 期>4月6日(出)～6月16日(日)

<休館日>第1月曜日（休日の場合は翌平日）

※4月15日(月)、5月20日(月)は企画展休室

<料 金>一般1,200円（960円）、大学生700円（560円）、高校生以下無料

※（）内は20名以上の団体料金

千葉県立中央博物館

まいわいはくらんかい
万祝博覧会 —海をまとう—

万祝は、大漁などを祝って作る漁師の祝い着です。江戸時代の終わりに房総半島で生まれ、万祝を作る文化は海を通じて青森から静岡まで広まりました。

今回はその全域の万祝を集めた初めての展示です。また、県内に今も残る万祝を染める職人や万祝デザインを活用する取り組み、万祝コレクターや万祝を描いた絵画など、万祝を様々な視点から紹介します。

(左)三代歌川広重画《大日本物産図絵》千葉県立中央博物館蔵
(右)万祝 千葉県立中央博物館蔵

<会 期>7月27日(出)～9月29日(日)

<休館日>7月29日(月)、8月26日(月)、9月2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)

<料 金>一般800円（640円）、高校生・大学生400円（320円）

※（）内は20名以上の団体料金

※中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方及びその介添者1名は無料

日誌抄

事務局

■第1回役員会

令和5年10月4日（水）13時15分～13時45分

会場／千葉県立中央博物館

内容／①令和5年度事業の活動状況について

②特別事業について

③全国博物館大会進捗状況について

■第2回役員会

令和6年3月

会場／書面開催

内容／①令和5年度事業実施・会計中間報告

②令和5年度千葉県博物館協会顕彰について

③情報伝達訓練実施報告 等

研修委員会

■研修会

令和6年1月31日（水）14時～16時30分

会場／千葉市美術館

内容／「デジタルアーカイブの課題と展望」

調査研究委員会

■第2回委員会

令和5年12月8日（金）10時～11時

会場／千葉県立中央博物館

内容／MUSEUMちば48号について

地域振興委員会

■各地域ブロックの活動

令和6年2月～3月

内容／各ブロック会議の開催

■ブロック代表者会議

令和6年3月6日（水）13時～14時

会場／オンライン（zoom）

内容／①各地域ブロックの活動の情報共有

②情報伝達訓練

■情報伝達訓練

令和6年3月12日（火）



広報委員会

■第3回委員会

令和6年1月11日（木）10時～12時

会場／和洋女子大学文化資料館

内容／会報『ちばの博物館』第150号の計画について

■第4回委員会

令和6年2月21日（水）13時30分～15時

会場／千葉県立中央博物館

内容／会報『ちばの博物館』第150号の編集について

編集後記

『ちばの博物館』150号をお届けいたします。

加盟館園、各委員会の皆様におかれましては、情報提供または原稿作成にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

広報は、開催予定の行事などを告知するのみならず、開催した行事などを報告することも重要な役割です。本号でも、県内トピックスとして、全国博物館大会における企画運営側の報告、及び千葉県誕生150周年記念事業のパネル巡回展を紹介しています。こうした取り組みをご一読いただき、博物館活動の参考となれば幸いです。

（土屋）